



学校だより

11月号

平成30年11月12日
足立区立第四中学校
校長 高橋 淳

芸術の秋 スポーツの秋 そして、学問の秋

学芸発表会を終えて

10月26日(金)・27日(土)、「平成30年度 学芸発表会」が行われました。運動会に並ぶ、学校全体で行われる大きな行事に向けて、四中生は一致団結して準備を進めてきました。

26日(金)の舞台発表の部では、部活動や学年の発表がありました。どの団体の発表もこれまでの学習や活動の成果を発表するだけでなく、観客を飽きさせない工夫が見られました。四中生の努力や独創性にあふれる、素晴らしい舞台発表となりました。

27日(土)は合唱コンクールの部でした。1年生は魚沼自然教室の準備などが重なり、日程的に厳しい中での練習となりましたが、1年生らしい元気な歌声で会場を魅了しました。2年生は学校の次の柱として、後輩に負けないよう全力で学年合唱を歌いました。たった1年でここまで大きく成長できるのかと、私たち職員も驚きを隠せませんでした。そして、3年生は最上級生として本当に素晴らしい合唱を披露してくれました。3年生の学年合唱では、その迫力のある歌声に、後輩たちが3年生の方を思わず振り返ってしまうほどでした。

学芸発表会を行うにあたり、学芸発表会実行委員の生徒は本当によく頑張りました。自分たちで主体的に仕事を進め、協力しながらこの大きな行事をつくり上げました。また、実行委員でない生徒は、実行委員の仕事に協力したり、練習に一生懸命取り組んだりすることで、行事成功に大きく貢献しました。「深めよう友との絆 楽しもうこの瞬間を」というスローガンも、間違いなく達成することができたと言えるでしょう。

保護者の皆様には準備の段階から多くのご協力をいただきました。学芸発表会当日も多くの保護者の皆様が参観に来てくださり、生徒の励みになったのはもちろん、私たち職員も嬉しく思っておりました。この場を借りてお礼申し上げます。〈文化的行事委員会委員長 折田 圭一〉



10月から11月にかけて、足立区内の中学生によるさまざまな行事が

西新井文化ホール(ギャラクシティ)で開催され、四中生が活躍しました。

連合英語学芸会 10月25日(木)

自分の主張を英語で発表するスピーチ部門に、2年生が参加し、石田愛佳さんが2位入賞を果たしました。おめでとうございます。



連合音楽会 11月6日(火)

四中生の出番は、二日目。まずは、代表の4人が千寿桜堤・鹿浜菜の花・青井・入谷・江北桜中学の生徒とともに合唱のステージに立ちました。歌ったのは「あすという日が」と「南風」の二曲です。

午後には、吹奏楽部が登場しました。学芸発表会で四中のみなさんも聞くことができた「マリアの七つの悲しみ」と「オーメンズ・オブ・ラブ」を演奏しました。みんなの誇らしげな顔が印象的でした。

連合演劇発表会 11月7日(水)

今年、演劇部が上演したのは「七人の部長」です。ある女子校で繰り広げられる、部活動予算会議。超個性的な七人の部長による会議は脱線、また脱線。この予算会議、果たして無事に終わるのか…というコミカルな要素をもった作品でもありましたが、日々の練習の成果を披露し、楽しい舞台となりました。

また、3年の工藤輝星さんが個人演技賞を受賞しました。おめでとうございます。

連合体育大会～駅伝競走大会～ 11月9日(金)都立舎人公園陸上競技場

あいにくの空模様の中での実施となりましたが、男子18km、女子10kmの駅伝、男子3km、女子2kmのロードレースが行われました。出場選手は以下のとおりです。



男子：駅伝1区 菱谷志輝(2)	女子：駅伝1区 山部風菜(2)
2区 白井悠人(2)	2区 大村まりあ(2)
3区 中新井望(2)	3区 島野菜々子(2)
4区 坂本和輝(3)	4区 谷内優花(2)
5区 森田響(3)	5区 宮澤裕美(1)
6区 杉山湧人(3)	ロードレース 永野詩音(1)
ロードレース 沖田翔哉(2)	長嶋咲良(1)

これまで1ヶ月以上にわたって、合唱コンの練習や勉強とも両立させながら、朝練習や放課後練習に励み、当日を迎えました。結果は、駅伝男子14位、女子7位入賞、ロードレースの永野詩音さんは3位になるなど、雨にも負けない活躍でした。

税の作文や標語、人権作文などの入賞の知らせも届いています。次号でお伝えします。

《11月5日(月)朝礼での校長先生のお話より抜粋》

日々の学習の成果を発表する四中の学芸発表会が終わりました。

勉強やスポーツ、部活動、さまざまな行事などに全力で取り組んでいる、才能あふれる先輩たちの背中を見て、自分もそうなりたいと後輩が育つ学校が四中です。そして、今回の学芸発表会では改めて、互いに切磋琢磨し、競い合い、伸ばし合うことのできる環境だと実感することができました。

3年生はこれから大切な時期を迎えます。自分の力を信じ、存分に発揮してください。

